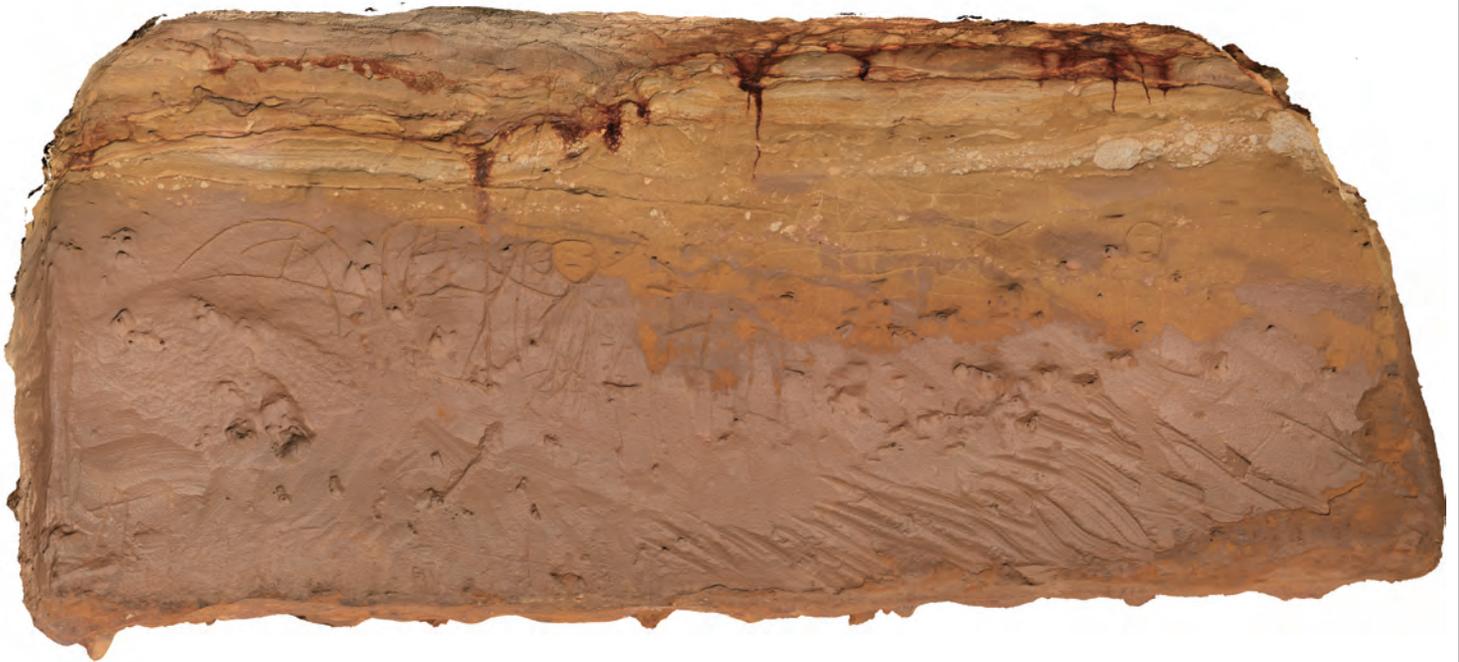
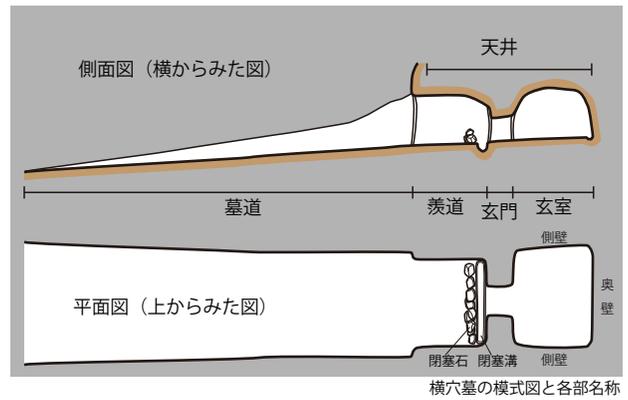


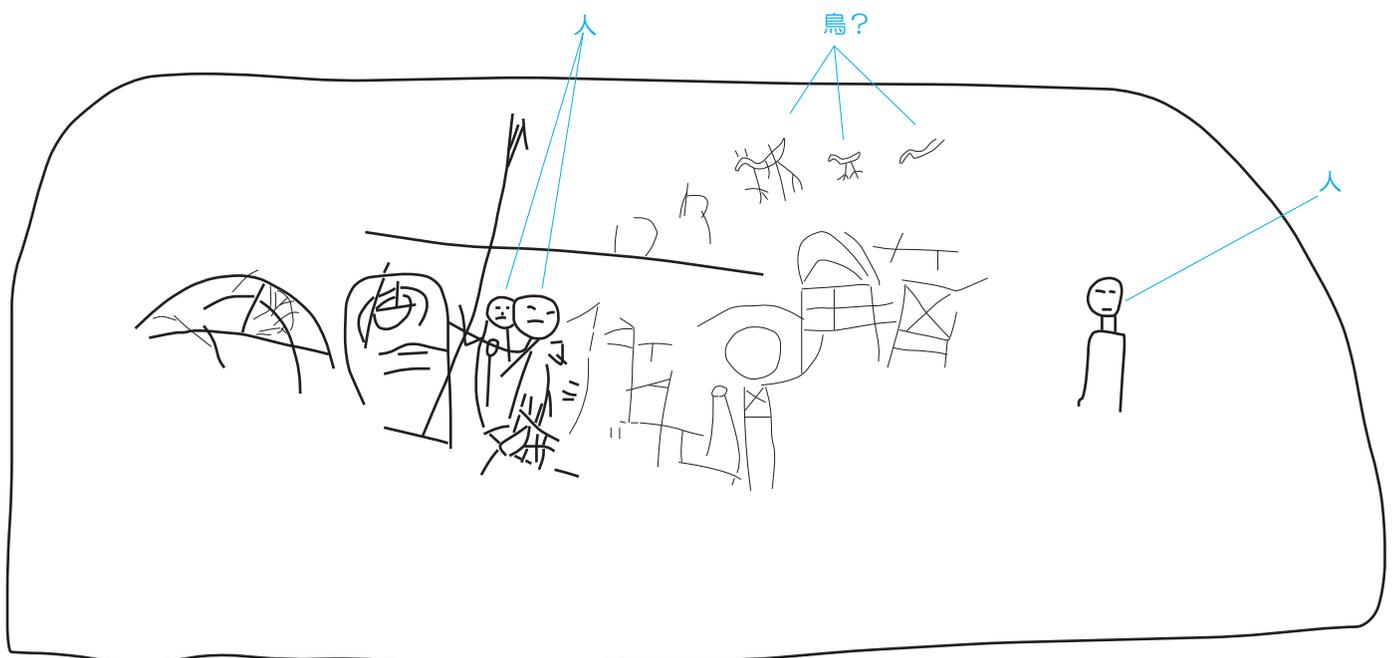
# 合戦原遺跡 A区 38号墓 玄室奥壁の線刻画

平成 27年 7月 25日 (土)  
 現地説明会補足資料  
 宮城県山元町教育委員会

線刻画が発見された38号墓の玄室の規模は、奥行き 3.0m、幅 3.3m、高さ 1.7m ほどで、今回の調査で確認されている 54 基の横穴墓の中でも最大のものになります。線刻画は、玄室奥壁で確認されたものが最も多様で、鳥や人と考えられる表現が見受けられます。このほか、玄室の側壁・天井にも線刻と考えられる痕跡が確認されています。



合戦原遺跡 38号墓 玄室奥壁 線刻画 立面正射投影画像 S=1/20



合戦原遺跡 38号墓 玄室奥壁 線刻画の概要 S=1/20

(平成 27年 7月 17日現在) ※現在調査中のため、今後内容・解釈の変更の可能性があります。



38号墓 土の堆積状況  
(調査前は、お墓の入口は土で完全にふさがっていました。)



38号墓 玄門・羨道の様子



38号墓 墓道 遺物出土状況



38号墓 装飾付金銅製大刀出土状況  
(玄室内から撮影)



出土した装飾付金銅製大刀 (玄門内で出土)